鷹取山自然観察会会報

2014.9.14　No.5

鷹取山の自然観察路

―道路管理者について―

鷹取山自然観察会では鷹取山公園を起点として比較的みどりが残っている都市公園や民間の樹林地を通る道路を自然観察路として利用しています。鷹取山公園は横須賀市の都市公園で8ha程の広さでシイ・カシ・タブなどの照葉樹林と落葉樹が多く自然が残っている場所です（図１の観察路④）。鷹取山の西側は神武寺方面への観察路となっています。ここは逗子市内で神武寺を経てJR東逗子、京急神武寺駅までハイキング道がつながっています（観察路③）。この辺りは広大なみどりが残っている場所です。

東側の観察路は逗子市沼間と湘南鷹取を境とする道路が伸びていて、更にその先は横須賀市船越と湘南鷹取の尾根道が浜見台方面へと伸びています（観察路①）。鷹取山の北側は湘南鷹取と逗子市を境にして横浜市六浦方面へ道路が延びています。（観察路②）

図１　観察路

今回調査では横須賀市側の観察路がどこで管理しているのか不明なので、横須賀市道路維持課を通じて調べました。

道路管理者について

6月3日道路維持課を訪問し担当者から聴き取りしてきました。観察路は、大半が横須賀市道となっていて維持管理は道路維持課が行っている

図２　道路管理区分

そうです。管理区分を地図にしてみると図2のとおりです。
大きくＡ～Ｅに区分しました。Ａ区分は観察路②で鷹取山公園北側に伸びる道路です。
ここは、横須賀市道と一部民間道路を含むそうです。Ｂ区分の鷹取山山頂周辺は横須賀市の都市公園となっていて横須賀市の管理です。山頂すぐ南側の観察路①ではＣＤＥの3区分があります。山頂から南側のＣ区分は逗子市と横須賀市の境界であり、逗子側の管理区分は不明です。横須賀市側は湘南鷹取公園敷地で市の管理区分です。その先はＤ区分で一部民地がありますが、神奈川県が指定している自然環境保全地域の境界となっています。更にその先はＥ区分で横須賀市道となっていて湘南鷹取3丁目付近から浜見台までは水道管埋設道路で一部舗装されている6尺道路（1.2～1.8メートル）となっています。

道路維持課では維持管理費が不足していて、草むしりなど維持管理は手が回らないそうです。ただし、台風等の倒木は電話すれば廃棄処理するそうです。
現在の切り倒されたものは通路の妨げにならない状態では費用がかかるので運搬は困難かといっていました。
一応、横須賀市側の観察路については管理区分が分かりましたが、鷹取山周辺の観察路については逗子と横須賀市の市境を道路が通っているために管理区分が入り組んでいます。間違い等ありましたらご連絡いただければ修正します。今後、逗子市の区分についても調査したいと考えています。

（参考）
鷹取山観察会のHP（鷹取山の花と樹）には浜見台から神武寺までの路（図１観察路の１と３）と沿道でみられる草花と樹が示されています。また鷹取山自然観察会は主に観察路１、３、４で、植物相調査とチョウ類調査は観察路の１、２、４とその他の路で行われています。鷹取山にはいろいろな観察路があります。

鷹取山公園を中心に樹木板を設置しました

昨年に引き続き7月2日に樹木板を設置しました。今回は桜並木と山頂周辺に３５か所の樹木板をつけました。当日はむし暑く、作業は大変でしたが順番に杉板の樹木名等が記入したプレートをシュロ縄で木にとめていきした。鷹取山自然観察会では横須賀市へ公園許可の申請をして樹木板を設置することとしました。

樹木板を設置には会員５名が参加しました。崖地や坂道などもあり場所の選定は苦労しました。多少見にくいところもありましたが、２時間余りで樹木板約３５枚を設置いたしました。

樹木板は木製でペンキで種名、特徴、科名を記載してあります。掲載した場所、樹種は次のとおりです。

樹木の名前を覚えることばかりが目的ではないのですが、自然と触れ合うきっかけと、自然とのふれあいを持つための一助となれば幸いです。

昨年、樹木板を設置してから、多くの方に樹木の名前や花の咲く時期が分かって良かったとご意見を頂いています。樹木板の設置に参加された方は本当にご苦労様でした。

樹木板設置場所と植物名

桜並木：アオキ、ムクノキ、イタヤカエデ、ウツギ、キブシ、アカメガシワ、コゴメウツギ、トベラ、マルバウツギ、ネズミモチ、ヤブニッケイ、ニシキギ、ウツギ、キズタ、マユミ、ヤツデ、ヒメコウゾ、

山頂広場：クヌギ、ヤマグワ、ハコネウツギ、

磨崖仏方面の道：オオシマザクラ、ガマズミ、イニビワ、ヒメウツギ、ハコネウツギ、キズタ、ヌルデ、ヒメコウゾ、ミズキ、タマアジサイ、カラスザンショウ、

山頂付近：イヌツゲ、イヌシデ、ツクバネウツギ、

((コラム))　**ー観察会に参加しませんかー**

植物の名前を覚える一番良い方法は、知っている人に教わること、そのような場数を多くもつことではないでしょうか。植物の特徴や似た草花の見分け方など自分一人で調べても分かりにくく、それで良いのか自信がもてないものです。よく知っている人に直接教えてもらうのが最も効率的で、確実です。そしてそのような場が観察会です。知っている植物が増えていくのは楽しいものです。歩いているときでさえ、植物名を知っているのと知らないのとでは、周りの景色が違って見えるでしょう。皆初めは素人です。では、いつはじめるか、、、

巣箱作りをしませんか

巣箱を作って、鷹取山の木に取り付けます。うまくいけば、シジュウカラなどの野鳥の巣になり、卵を産み、ひなが育つかもしれません。野鳥が増えれば、鷹取山にもたくさん飛んでくるようになり自然が豊かになります。

作り方は、切ってある板をクギで打ち付け、組み立てるだけなのでむずかしくありません。使いやすいカナズチを持っていたら、持ってきてください。なくてもよいです。それ以外なにもいりません。

参加したい方は、グループは代表者が、一人の子はそれぞれが必ず電話で申し込んでください。

作る日	11月22日（土）9時30分 雨天は23日（日）に延期します 12時解散
参加できる人	小学生と保護者
参加人数	先着１０組
集合場所	鷹取山山頂あずまや集合
参加費	無料

平成26年の今後の行事予定

（１）自然観察会（一般）
毎月第２日曜日。保険料100円。
９月14日、追浜駅改札口　９時半集合
10月12日、神武寺駅改札口　９時半集合
11月９日、 追浜駅　９時半集合
12月14日、 追浜駅　９時半集合
追浜駅集合のときは、10時頃に西友湘南鷹取店前を通過しますので、ここに集合でも結構です。　申し込み先：本多まで。

（２）植物相調査会（会員）
原則第４金曜日に行います。雨天の時は日曜日に順延、さらに水曜日に順延します。
９月26日、10月24日、11月28日、12月26日。午前10時ー午後３時頃まで。

（３）チョウ類調査（会員）
原則第２金曜日に行います。雨天の時は翌週の日曜日に順延、さらに水曜日に順延します。
９月12日、10月10日。午前10時–１２時半頃まで。

（２）（３）の集合場所は鷹取山山頂の東屋です。
これらの行事はすべて自由参加です。興味のある調査に是非参加ください。なお、調査等のデータの取り扱いについては、会員が使用することは自由ですか、外部へ公表する場合は鷹取山自然観察会として発表します。

鷹取山観察会　（ホームページを見て下さい）
HP：鷹取山の花と樹　http://homepage3.nifty.com/takatoriyama/
連絡先：世話人代表：　本多久男　e-mail：fwjg2350@mb.infoweb.ne.jp
tel：090-4177-0164